

平成30年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	丸山孝幸
全体計画						経費区分	-		内線	245-1770	
事務事業名	4234 動物園管理運営事業										
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課										
施 策	06023100 良好な景観要素の保全と育成の推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	080404 土木費・都市計画費・臥竜公園管理事務所費									
	事業	030000 動物園管理運営事業									
事業目的						事業概要・効果					
来園者に親しまれるとともに市民の憩いの場となる動物園にする。						動物の展示方法の工夫、様々なイベントの実施、園内でゆっくりとくつろげる空間づくり等を行い、「いやし、ふれあい」を提供して入園者増を図る。					

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
入園者：156,913人	入園者：136,576人
平成29年度 実績	平成30年度 予定
入園者：142,755人	入園者：150,000人
平成31年度 予定	平成32年度 予定
入園者：150,000人	入園者：150,000人

指標名	須坂市動物園入園者数				
算式	年間入園者数				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	160,000	150,000	150,000	150,000
	実績	136,576	142,755		
指標選定の理由	須坂市動物園の特徴である「ふれあい」と「いやし」を充実することにより、入園者増を図る。				
最終年度目標の根拠	過去の実績を基に算定。				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		53,867	53,960
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	20,208	19,091
一般財源		33,659	34,869
人員数(人)	正規職員	5.9	5.9
	嘱託職員	3.4	3.4
	臨時職員	7.3	7.3
人員コスト	正規職員	42,179.1	42,179.1
	嘱託職員	9,404.4	9,404.4
	臨時職員	8,606.7	8,606.7
	計	60,190.2	60,190.2
市民一人当たりの経費		2.2	2.2
総額		114,057.2	114,150.2

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	215	写生大会審査員謝礼等謝礼
11節 需用費	17,702	消耗品費1,150 燃料費540 印刷製本費968 光熱水費5,133 修繕料2,181 飼料費7,381 医薬材料費349
13節 委託費	3,476	施設管理2,336 保守点検33 シルバー人材センター307 その他800
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	313	負担金
その他	32,161	嘱託臨時人件費27,422 旅費256 役務費1,553 使用料272 原材料費699 備品購入1,499 積立金453 公務費7

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	270	写生大会審査員謝礼等謝礼等謝礼
11節 需用費	18,313	消耗品費1,092 燃料費600 印刷製本費970 光熱水費5,771 修繕料2,280 飼料費7,200 医薬材料費400
13節 委託費	3,818	施設管理2,415 保守点検33 シルバー人材センター523 その他847
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	313	会議等出席負担金
その他	31,246	嘱託臨時人件費27,911 旅費365 役務費1,485 使用料312 原材料費700 備品購入432 積立金41

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	日本動物園・水族館協会が掲げる動物園の役割の4項目のうち、①命に触れる憩いの場、②楽しく学ぶ教育・環境教育を担っている。 幼稚・保育園児、小・中学生が動物の生と死を学ぶことや、現代ストレス社会に対し「動物による癒し、ふれあい」により、心と体の健康を作る「アニマルセラピー」の現場を担っている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	平成24～27年度と15～16万人を超える入園者数があったが、平成28、29年度と14万人を前後する入園者数となったが目標の15万人を下回る結果となった。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや悪化
評価コメント	施設全体の老朽化による修繕費用等の維持管理費用の増額が懸念される。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

毎月、様々なイベントを実施することで、リピーターの増加に努める。
 SNS（HP、ブログ、ツイッター、フェイスブック、ライン、インスタグラム、情報誌への情報提供により、情報発信に努めた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>SNSに頼らない情報発信の工夫、飼育員の手作りのイベントや飼育員との同じ目線、動線に立ち、飼育員との会話も楽しめるなど、他園には無い独自性を出したイベントの企画をし、入園者に学び、癒しの提供をしていく。</p>		<p>こまめな情報発信や展示方法・様々なイベントなどの創意工夫や園内でゆっくりとくつろげる空間づくり等を行っていく。また、適切な維持管理も継続していく。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	